

認知症に関する活動計画（概要）

福岡県作業療法協会では、保健福祉部内に認知症作業療法推進委員会を設置している。活動は、認知症に関する研修開催、認知症にやさしい図書館事業を中心に展開している。各市町村における認知症関連の地域活動とのつながりを深め、並行して、地域活動が出来る作業療法士の育成、会員のつながりの強化を図る活動を強化している。

認知症にやさしい図書館事業

・ **小さな本棚(認知症関連の推薦図書を紹介冊子)の作成**
 認知症の普及啓発事業の一環として、小冊子「小さな本棚」を作成した。2024年度は【家族へのメッセージ編】として、10冊を選書し、それぞれ推薦文を掲載している。前年度までは、作業療法士のみでの選書・紹介文の執筆であったが、今年度から実際に奮闘中のご家族の方、介護経験を活かしてサポートを務めている方にも選書・執筆して頂き、幅広い視点からの冊子となった。冊子は、図書館でのイベントでの紹介をはじめ、図書館等での設置、配布をしている。



・ 図書館における普及・啓発イベントの開催

北九州市内の図書館において、認知症の普及・啓発イベントの開催を行なっている。作業療法士による講座だけではなく、地域住民と作業療法士、作業療法士の学生、高校生との交流会の開催、地元高校生による認知症の本の紹介コーナーの設置、本の紹介や読み聞かせなど、多世代交流を意識した取り組みを行なっている。

福岡市オレンジパートナーズへの団体登録と活動

福岡オレンジパートナーズとは、認知症の人とその家族、企業、団体、医療・介護・福祉事業者、行政で構成され、認知症について自主的に「知る」「考える」「つながる」「行動する」ためのコンソーシアムであり、認知症になっても自分らしく生きるために何が出来るかを考え、実際の取り組みにつなげることを目指している。福岡県作業療法協会は団体登録を行なっており、各種研修会、意見交換会への参加を行なっている。